

観覧無料

久野真展 Metal Works

開 美術館 (☎23-1636)

名古屋を拠点にしながら国際的に活躍した久野真(1921~98年)。1950年代、石こうによる作品で注目され、60年代からは、鉄、鉛、ステンレスへと素材を変えながら、従来の絵画のイメージを覆す作品を制作し続けました。本展では、初期から晩年までの代表作のほか、アトリエに遺された貴重な作品や資料を展示。緊張感や躍動感、そして詩情をも感じさせる久野の作品世界をお楽しみください。

時 7月23日(火)~9月1日(日) 9時~17時(入館は16時30分まで・㊟月曜、8月13日(火))
※8月12日(月曜・祝日)は開館

① 場 1階展示室・ロビー



②



③

■会期中のイベント

1. 対談 木本文平(碧南市藤井達吉現代美術館長)×庄司達(造形作家)
【久野真の作品世界】

久野作品の研究を続けてきた木本さんと布のインスタレーションで知られる庄司さんが、作品の変遷と魅力をお話します。

時 7月27日(土) 14時~15時30分 場 2階研修室 定 80人

2. ワークショップ

A. 「つめたーい氷」でかいちゃおう!

色付きの氷を使って遊びましょう。夏にぴったりのひんやり楽しいアート体験です。

時 8月3日(土)・7日(火) 10時~11時30分

講 山口百子氏(美術家) 対 年少~年長児 定 各24人

B. 「石こう」ってなんだろう?

サラサラ?カチカチ?面白く変化する不思議な素材・石こうを使って、ニセモノ化石を作ります。

時 8月8日(日) 10時~12時 講 加藤真浩氏(彫刻家)

対 小学1~4年生 定 20人

C. つながるかたち

アルミシートを使って、パズルみたいに形がつながるデコボコ絵画を作ります。

時 8月23日(金) 13時~15時30分

講 小島雅生氏(造形作家) 対 小学3年~中学生 定 20人

3. 学芸員によるギャラリー・トーク

時 8月1日(木)・15日(木)・29日(木) 13時30分~14時10分

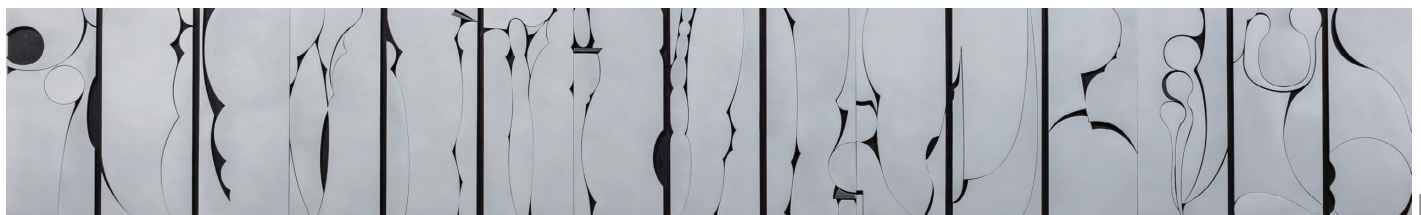
【A~C共通】

場 研修室 料 100円

申 A・Bは7月23日(火)、Cは8月8日(日)(必着)までに、往復ハガキの往信部裏面にイベント名(Aは希望日も)、参加者全員の氏名(フリガナ)、学年(年齢)、保護者氏名、住所、電話番号を、返信部表面に郵便番号・住所、氏名を記入し、美術館(〒448-0852 住吉町4-5)へ。

※申込多数の場合は抽選とし、結果は申込単位で連絡します。

※1人または1グループ1通のみ有効



④

①《鋼鉄による作品 #292》1975年 刈谷市美術館蔵 ②《Relief Painting (2)》1997年 愛知県美術館蔵

③《鋼鉄による作品》1959年 名古屋市美術館蔵 ④《アルミによる作品 長い手紙-1》1987年